

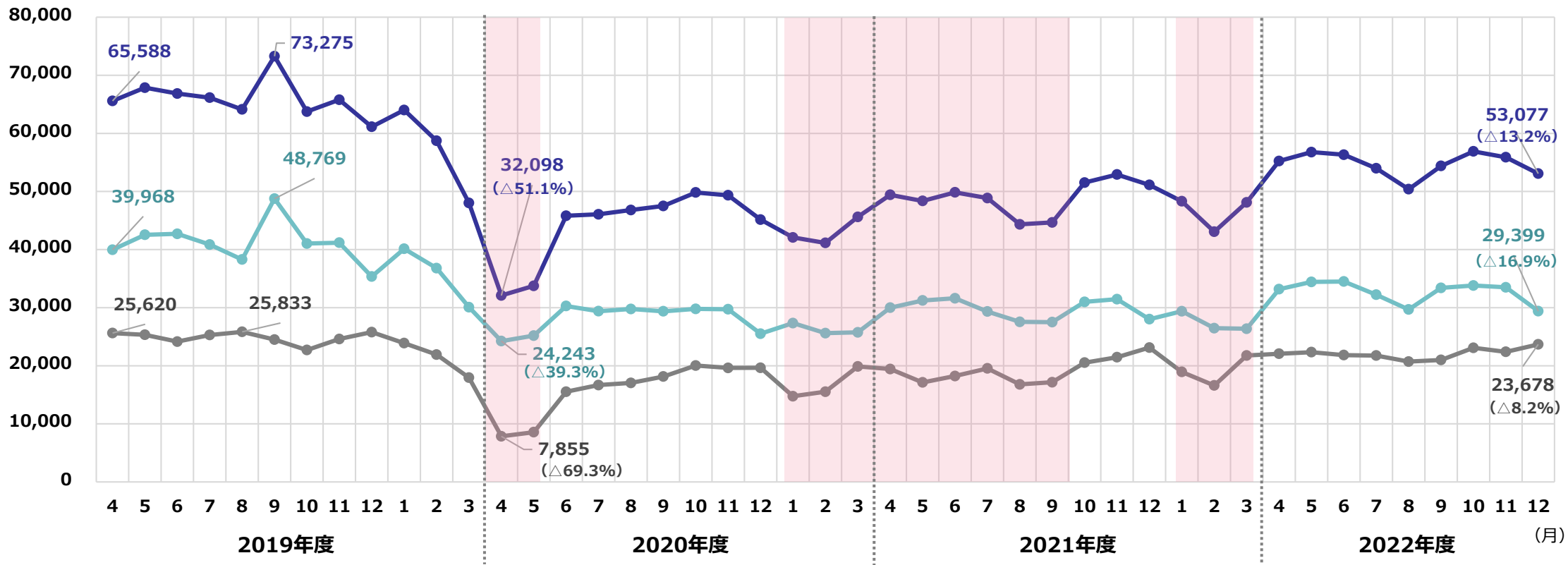


2023年3月期 第3四半期
決算説明資料

2023年2月8日

<小田急電鉄 輸送人員>

(千人)



● 定期 ● 定期外 ● 定期・定期外計
 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置 発出期間

※ () 内は対2019年度同月

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
営業収益	267,732	295,648	+27,915 (+10.4%)
運輸業	98,686	113,198	+14,512
流通業	74,563	73,138	△1,424
不動産業	61,880	64,895	+3,015
その他の事業	52,799	64,046	+11,246
調整額	△20,198	△19,631	+566
営業利益	9,137	23,842	+14,704 (+160.9%)
運輸業	△485	10,380	+10,865
流通業	477	490	+13
不動産業	15,984	14,894	△1,089
その他の事業	△6,873	△1,957	+4,916
調整額	34	34	—
経常利益	8,144	23,828	+15,683 (+192.6%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,985	10,967	△5,018 (△31.4%)

営業外・特別損益、連結貸借対照表



<営業外・特別損益>

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期		増減・主な要因
営業外収益	4,195	4,728	+532	助成金収入 793 (+793)
営業外費用	5,188	4,742	△446	支払利息 3,406 (△252)
特別利益	20,909	2,846	△18,062	固定資産売却益 1,995 (△1,190) 工事負担金等受入額 502 (△273) 投資有価証券売却益 302 (△11,579)
特別損失	2,053	6,431	+4,378	特別退職金 2,482 (+1,811) 固定資産除却損 1,691 (+1,280) 固定資産圧縮損 469 (△255)

<連結貸借対照表>

単位：百万円	2021年度	2022年度 第3四半期		増減・主な要因
流動資産	125,542	131,270	+5,728	
固定資産	1,159,687	1,152,912	△6,775	
資産合計	1,285,230	1,284,183	△1,046	現金及び預金 +13,538 分譲土地建物 △8,909 有形固定資産 △6,505
流動負債	340,182	416,537	+76,354	
固定負債	595,789	509,823	△85,965	
負債合計	935,972	926,361	△9,611	有利子負債 △7,690
純資産合計	349,257	357,821	+8,564	利益剰余金 +7,261
負債純資産合計	1,285,230	1,284,183	△1,046	

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	98,686	113,198	+14,512 (+14.7%)	
鉄道業	74,541	85,119	+10,578	(+)当社定期外収入の回復 +7,115
バス業	20,994	23,724	+2,730	(+)利用者数の回復
その他	3,150	4,353	+1,203	(+)利用者数の回復
営業利益	△485	10,380	+10,865 (-)	
鉄道業	2,625	9,809	+7,184	
バス業	△2,170	370	+2,541	
その他	△939	200	+1,139	

<フリーパス売上枚数（対前年）>

箱根フリーパス	+92.7%
江の島・鎌倉フリーパス	+73.8%

<箱根エリアの営業収益>

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
箱根エリア※	8,349	11,641	+3,292

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

<小田急旅行センター利用者数（対前年）>

乗車券等の購入者	+934.3%
----------	---------

（参考）箱根交通各社合計輸送人員 対前年 +20.3%

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	267,704	294,120	+26,416	(+9.9%)	(△20.7%)
通勤定期	192,674	203,076	+10,402	(+5.4%)	(△23.1%)
通学定期	75,030	91,044	+16,014	(+21.3%)	(△14.6%)
定期外	173,390	198,860	+25,470	(+14.7%)	(△11.2%)
合計	441,094	492,980	+51,886	(+11.8%)	(△17.1%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	27,076	28,741	+1,664	(+6.1%)	(△22.5%)
通勤定期	23,271	24,029	+758	(+3.3%)	(△23.9%)
通学定期	3,804	4,711	+906	(+23.8%)	(△14.2%)
定期外	39,703	46,818	+7,115	(+17.9%)	(△13.0%)
旅客運輸収入計	66,779	75,559	+8,780	(+13.1%)	(△16.8%)
運輸雑収	2,562	2,268	△294	(△11.5%)	(△20.1%)
運輸収入合計	69,342	77,828	+8,486	(+12.2%)	(△16.9%)

■ 営業費

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
営業費合計	65,521	68,255	+2,733
人件費	18,136	19,289	+1,153
修繕費	3,997	3,852	△145
動力費	3,658	5,333	+1,675
固定資産除却費	552	550	△2
減価償却費	19,004	18,426	△577
その他	20,172	20,802	+630

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	74,563	73,138	△1,424 (△1.9%)	
百貨店業	23,310	23,456	+145	(+)利用者数の回復 (△)新宿店売場縮小（2022/10/3～）
ストア・小売業	45,886	44,260	△1,626	(△)ベーカリー事業の営業終了 (+)駅構内コンビニの利用者数回復
その他	5,366	5,421	+55	
営業利益	477	490	+13 (+2.8%)	
百貨店業	311	268	△43	(△)新宿店リニューアル関連費用の発生
ストア・小売業	210	167	△42	
その他	△44	54	+99	

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

単位：百万円	2022年度 第3四半期	増減
新宿店	13,727	△2.8%
店頭	13,364	△2.8%
町田店	6,315	+9.6%
ふじさわ	1,367	+3.6%
その他	2,045	△3.0%
合計	23,456	+0.6%

<ストア・小売業：小田急商事ストア部門取扱高（対前年）>

全店	△1.0%
既存店	△1.0%

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	61,880	64,895	+3,015 (+4.9%)	
不動産分譲業	29,424	30,957	+1,532	(+)投資用不動産の売却 (△)計上戸数減
不動産賃貸業	32,456	33,938	+1,482	(+)新規物件開業
営業利益	15,984	14,894	△1,089 (△6.8%)	
不動産分譲業	3,111	2,918	△193	(△)計上戸数減
不動産賃貸業	12,872	11,975	△896	(△)新規開業物件費用増

<不動産分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
戸建	59	58	△1
マンション	320	111	△209
土地	138	27	△111
合計	517	196	△321

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却件数>

単位：件	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
投資用不動産	－	3	+3

単位：百万円	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	52,799	64,046	+11,246 (+21.3%)	
ホテル業	9,132	13,844	+4,711	(+)稼働回復
レストラン飲食業	9,001	10,927	+1,926	(+)利用者数の回復
その他	34,665	39,274	+4,608	(+)リゾート人材派遣需要回復
営業利益	△6,873	△1,957	+4,916 (-)	
ホテル業	△5,836	△3,171	+2,665	
レストラン飲食業	△1,090	△108	+982	
その他	54	1,322	+1,268	

<ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
ハイアット リージェンシー 東京	16.7%	41.6%	+24.9P
ホテルセンチュリーサザンタワー	5.7%	39.0%	+33.3P

<ホテル業：客室稼働率>

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
ハイアット リージェンシー 東京	20.5%	51.3%	+30.8P
ホテルセンチュリーサザンタワー	25.2%	56.3%	+31.1P
山のホテル	37.8%	58.5%	+20.7P
箱根ハイランドホテル	38.6%	51.4%	+12.8P
はつはな	42.5%	62.0%*	-

※ 「はつはな」は2022年1月4日から工事のため休業、9月11日にリニューアルオープンしており、営業期間中の稼働率を記載。

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減	10月時点見込	増減
営業収益	358,753	391,400	+32,646 (+9.1%)	391,400	- (0.0%)
運輸業	131,207	151,000	+19,792	151,000	-
流通業	100,853	95,900	△4,953	95,900	-
不動産業	80,946	83,800	+2,853	83,800	-
その他の事業	74,143	89,000	+14,856	89,000	-
調整額	△28,397	△28,300	+97	△28,300	-
営業利益	6,152	21,600	+15,447 (+251.1%)	19,600	+2,000 (+10.2%)
運輸業	△5,491	7,600	+13,091	6,100	+1,500
流通業	1,695	△500	△2,195	△500	-
不動産業	18,570	17,700	△870	17,200	+500
その他の事業	△8,668	△3,200	+5,468	△3,200	-
調整額	46	0	△46	0	-
経常利益	4,699	19,000	+14,300 (+304.3%)	18,300	+700 (+3.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益	12,116	11,500	△616 (△5.1%)	10,000	+1,500 (+15.0%)
設備投資額	64,693	58,700	△5,993	78,100	△19,400
減価償却費	49,363	48,300	△1,063	48,300	-
有利子負債残高	756,537	744,700	△11,837	759,100	△14,400

セグメント別業績予想（運輸業）



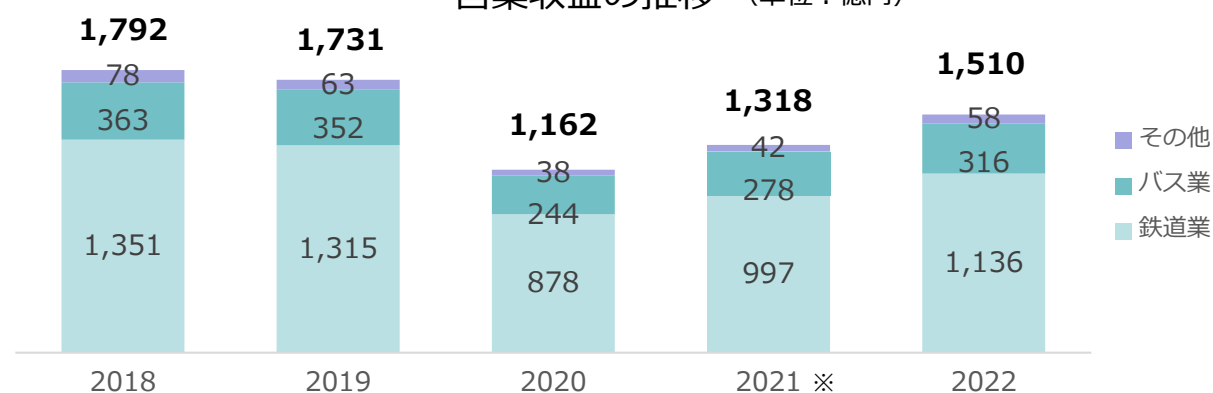
単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	131,207	151,000	+19,792 (+15.1%)		151,000	- (0.0%)	
鉄道業	99,086	113,600	+14,513	(+)当社定期外収入の回復 +9,964	113,600	-	
バス業	27,865	31,600	+3,734		31,600	-	
その他	4,254	5,800	+1,545		5,800	-	
営業利益	△5,491	7,600	+13,091 (-)		6,100	+1,500 (+24.6%)	
鉄道業	△816	8,200	+9,016		6,700	+1,500	(+)費用削減
バス業	△3,201	△300	+2,901		△300	-	
その他	△1,472	△300	+1,172		△300	-	
設備投資額	28,469	28,600	+130		36,300	△7,700	
減価償却費	32,830	31,500	△1,330		31,500	-	

<箱根エリアの営業収益>

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減
箱根エリア*	11,215	16,061	+4,845

* 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

営業収益の推移（単位：億円）



※ 会計方針変更前

セグメント別業績予想（運輸業）



<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2021年度	2022年度	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	349,917	385,013	+ 35,096	(+10.0%)	(△19.4%)
通勤定期	257,710	271,684	+ 13,974	(+ 5.4%)	(△22.2%)
通学定期	92,207	113,329	+ 21,122	(+22.9%)	(△11.7%)
定期外	230,695	266,474	+ 35,779	(+15.5%)	(△7.3%)
合計	580,612	651,487	+ 70,875	(+12.2%)	(△14.9%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2021年度	2022年度	増減		
			対2021年度		対2019年度
定期	35,618	38,042	+ 2,424	(+ 6.8%)	(△21.3%)
通勤定期	30,963	32,188	+ 1,224	(+ 4.0%)	(△22.9%)
通学定期	4,654	5,854	+ 1,199	(+25.8%)	(△11.3%)
定期外	52,991	62,955	+ 9,964	(+18.8%)	(△8.7%)
旅客運輸収入計	88,609	100,998	+ 12,389	(+14.0%)	(△13.9%)
運輸雑収	3,376	3,053	△322	(△9.6%)	(△19.6%)
運輸収入合計	91,986	104,052	+ 12,066	(+13.1%)	(△14.1%)

■ 営業費

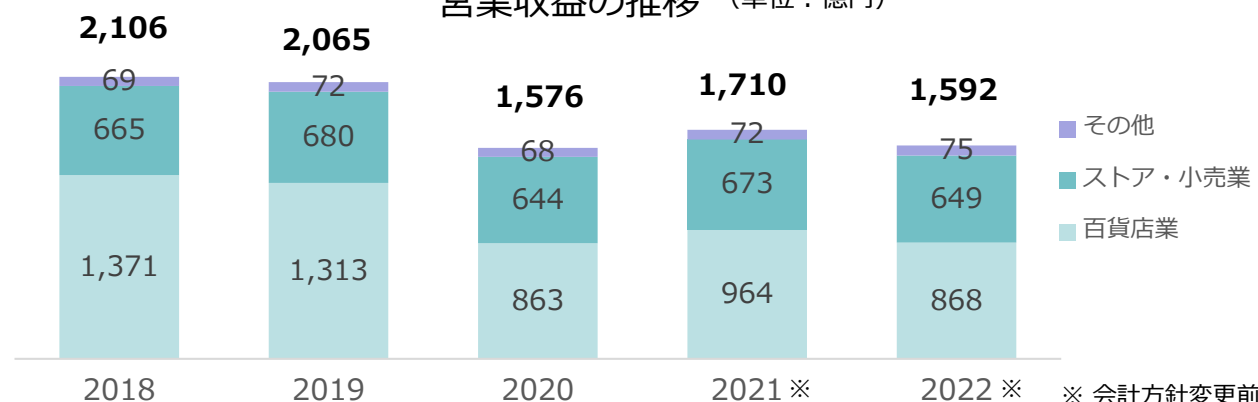
単位：百万円	2021年度	2022年度	増減
営業費合計	91,139	96,033	+ 4,894
人件費	24,695	25,990	+ 1,294
修繕費	6,855	7,214	+ 358
動力費	5,106	7,557	+ 2,450
固定資産除却費	1,362	1,413	+ 51
減価償却費	25,583	24,777	△806
その他	27,534	29,081	+ 1,546

セグメント別業績予想 (流通業)



単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	100,853	95,900	△4,953 (△4.9%)		95,900	- (0.0%)	
百貨店業	32,115	29,600	△2,515	(△)新宿店売場縮小 (2022/10/3~) (+)利用者数の回復	29,600	-	
ストア・小売業	61,527	58,800	△2,727	(△)ベーカリー事業の営業終了 (+)駅構内コンビニの利用者数回復	58,800	-	
その他	7,210	7,500	+289		7,500	-	
営業利益	1,695	△500	△2,195 (-)		△500	- (-)	
百貨店業	1,264	△900	△2,164	(△)新宿店リニューアル関連費用の発生	△1,400	+500	(+)新宿店リニューアル関連費用の削減
ストア・小売業	462	300	△162		800	△500	(△)人件費の増加
その他	△31	100	+131		100	-	
設備投資額	1,657	5,700	+4,042		7,600	△1,900	
減価償却費	2,730	2,800	+69		2,800	-	

営業収益の推移 (単位：億円)



セグメント別業績予想（不動産業）



単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	80,946	83,800	+2,853 (+3.5%)		83,800	- (0.0%)	
不動産分譲業	37,427	40,000	+2,572	(+)投資用不動産の売却 (△)計上予定戸数減	40,000	-	
不動産賃貸業	43,519	43,800	+280		43,800	-	
営業利益	18,570	17,700	△870 (△4.7%)		17,200	+500 (+2.9%)	
不動産分譲業	3,529	2,900	△629	(△)計上予定戸数減	2,900	-	
不動産賃貸業	15,040	14,800	△240	(△)新規開業物件費用増	14,300	+500	(+)費用削減
設備投資額	32,875	17,900	△14,975		28,600	△10,700	
減価償却費	9,707	10,200	+492		10,200	-	

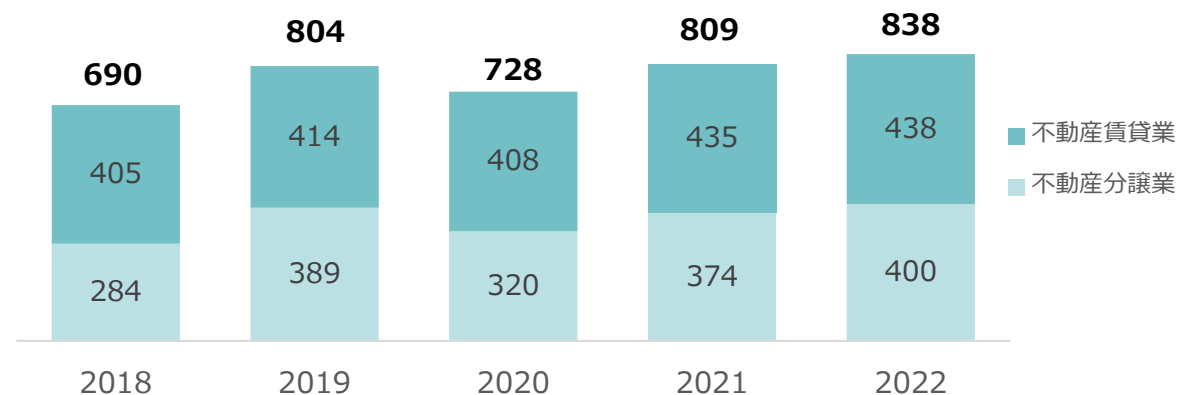
<不動産分譲業：小田急不動産 計上予定戸数>

単位：戸・区画	2021年度	2022年度	増減
戸建	66	86	+20
マンション	413	111	△302
土地	148	35	△113
合計	627	232	△395

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却予定件数>

単位：件	2021年度	2022年度	増減
投資用不動産	-	5	+5

営業収益の推移（単位：億円）

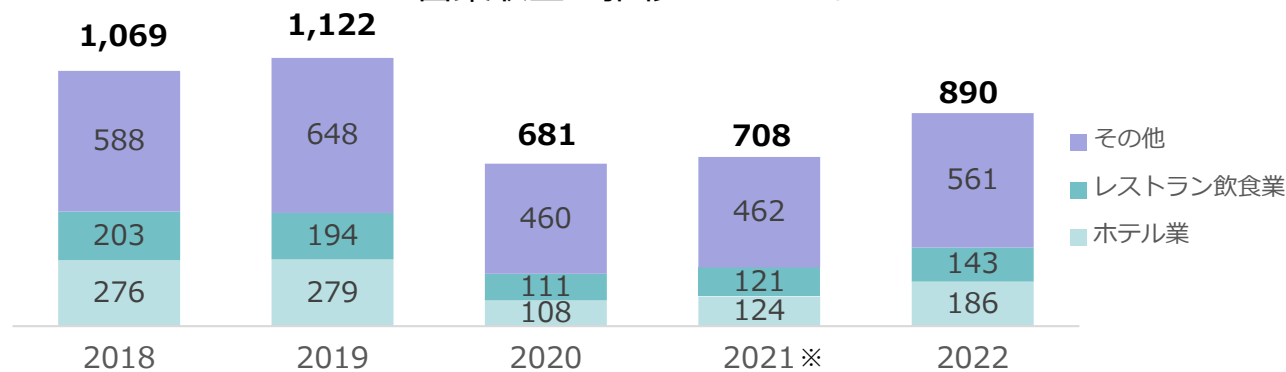


セグメント別業績予想（その他の事業）



単位：百万円	2021年度	2022年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	74,143	89,000	+14,856 (+20.0%)		89,000	- (0.0%)	
ホテル業	12,342	18,600	+6,257	(+)稼働回復	18,600	-	
レストラン飲食業	12,115	14,300	+2,184		14,300	-	
その他	49,685	56,100	+6,414	(+)リゾート人材派遣需要回復	56,100	-	
営業利益	△8,668	△3,200	+5,468 (-)		△3,200	- (-)	
ホテル業	△7,779	△4,300	+3,479		△4,300	-	
レストラン飲食業	△1,500	△300	+1,200		△300	-	
その他	612	1,400	+787		1,400	-	
設備投資額	1,690	6,500	+4,809		5,600	+900	
減価償却費	4,170	3,800	△370		3,800	-	

営業収益の推移（単位：億円）



※ 会計方針変更前

■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を当社HPの「決算関連資料」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社